

稲作改良法試験田成績報告

明治 24 年上半期

10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

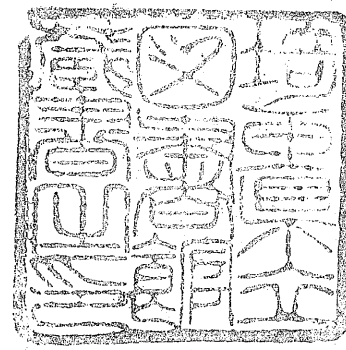


L616
1

明治廿四年
上半期

稻作改良法試驗田成績報告

埼玉縣內務部



732 /

正誤表

頁	誤	正	頁	誤	正
八二	川越村	川越町	八二	乙等	乙八等
八三	大袋首	大袋首首	八四	中坂西谷ツ	中坂西谷ツ
九〇	寺尾防地	寺尾字防地	九三	魚	菊
三三	次郎	三郎	四三	一〇〇〇	一、二〇〇
五八	蔵	太郎	四四	坊主	總
七五	田島	但馬	七五	四月上旬	一月下旬
七〇	移リ	移シ	八八	次郎	三郎
九二	中縮	晚縮	八八	一月廿日	二月二十日
三九	水	川	三三	次郎	三郎
三六	分合	歩合	四四	分合	歩合
三三	地ハ	他	三三	細カ	細カ
三五	斐等	斐登	三七	均7	均ラ
四二	間死	間花			
八四	住所大越村ノ下大越ニテラ脱ス	地位寺細ノ村ニテラ脱ス	七	住所大越村ノ下大越ニテラ脱ス	地位寺細ノ村ニテラ脱ス
九一	住所大越村ノ下大越ニテラ脱ス	住所大越村ノ下大越ニテラ脱ス	一	住所大越村ノ下大越ニテラ脱ス	住所大越村ノ下大越ニテラ脱ス
一〇五	次郎ノニテラ脱ス	普通田ノ下大越ニテラ脱ス	二	普通田ノ下大越ニテラ脱ス	普通田ノ下大越ニテラ脱ス
一六四	田ノハ行	温泉ノ下大越ニテラ脱ス	三	温泉ノ下大越ニテラ脱ス	温泉ノ下大越ニテラ脱ス
二八二	郡ノ下内ノテラ脱ス	中坂西谷ツ	三	中坂西谷ツ	中坂西谷ツ
三九〇	上真下村ノ上ノテラ脱ス	七本木村ノ上ノテラ脱ス	二	七本木村ノ上ノテラ脱ス	七本木村ノ上ノテラ脱ス
四三	及別ノ下大越ニテラ脱ス	石数ノ下大越ニテラ脱ス	六	石数ノ下大越ニテラ脱ス	石数ノ下大越ニテラ脱ス

叙言

此報告書ハ廿四年度上半年期即チ本年四月ヨリ九月ニ至ル六ヶ月間ニ於ケル管内各地
稻作試験田ノ事實ト種浸ノ成績ヲ掲載シ營業者ノ參考ニ供シ以テ普及ヲ謀ルノ資ニ
供スルカ爲メニ頒布スルモノトス而シテ其事項ハ廿三年度報告書ニ對シ異同疎密ノ
點ナキニアラス又本縣々報ニ登載セルモノハ之ヲ省略スルヲ以テ詳細ノ事實ヲ知得
セシト欲スルモノハ須ラク該年度報告書及該縣報トヲ相參照閱覽スヘク然ラハ其實
業ニ裨益スル所蓋シ思ヒ半ニ過キン

明治二十四年十一月

埼玉縣内務部

目次

第一	試驗田關係訓令及通牒	一頁
第二	試驗田區域位置及試驗人住所姓名	六頁
第三	教師受持區域	十一頁
第四	試驗田成績一覽	十二頁
第五	試驗田狀況	十六頁
第六	模造試驗田狀況	三十六頁

明治廿四年
上半期
稻作改良法試驗田成績報告

第一 試驗田關係訓令及通牒

號外

福岡縣勸農社員

高田 惣五郎

各通

内田 太一郎

大神 伊右衛門

吉村 又藏

今般本縣下稻作改良法傳習ノ義囑托候ニ付テハ右試驗方法及成績調査方別紙ノ通り
心得ラルヘシ

明治二十四年四月二日

埼玉縣知事 小松原英太郎

稻作試驗心得

第一條 稻作試驗ハ左ノ區別ニ依ルモノトス
甲 悉皆改良法ニ依リタルモノ

但水園ト土園ト其種籾ノ圍ヒ方ヲ異ニスルモノハ各別ニ試験スヘキモ
ス
乙 撰種法ノミヲ施シ水園若クハ土園ヲ施サ、ル稻籾ヲ改良ノ方法ニテ栽培セ
モノ
丙 水園若クハ土園ヲ施セシ稻籾ヲ從來ノ方法ニテ栽培セシモノ
丁 撰種法ノミヲ施シ其他ハ悉皆從來ノ方法ニテ栽培セシモノ
第二條 前條ニ依リ撰種及栽培ノ方法共其區別ヲ要スルモ地質面積ハ略同一ノ場所
トシ種籾モ同種類ノモノタルヘキヲ要ス
第三條 試験ノ成績ハ別紙雛形ニ依リ調製試作人連署ノ上差出スヘキモノトス

稻作試験成績表

種別	甲	乙	丙	丁
試験田ノ所名	町大字	同上	同上	同上
地質	同上	同上	同上	同上
反別	反畝歩	同上	同上	同上
等級地價	金等圓錢厘	同上	同上	同上

種籾ノ名稱	早中晩ノ別	撰種ノ方法	種園ノ方法	苗場ノ裝置	壹反歩當リ 種籾ノ數量	播種ノ期節	苗場手當	植付田ノ耕耨 深サ 耕寸	植付前期ノ作物	植付期節	壹坪當 苗株數	壹株當 苗本數	給水ノ驅引	除草ノ度數
					升合	月日		深サ 耕寸		月日	十株	本		度
	同上				升合	月日		深サ 耕寸		月日	十株	本		度
	同上				升合	月日		深サ 耕寸		月日	十株	本		度
	同上				升合	月日		深サ 耕寸		月日	十株	本		

同 賃 錢	人 夫 ノ 數	肥 料 代 價	施 肥 期 分 節 量						同 立 米 石 數	收 穫 粉 石 數	刈 取 後 ノ 手 當	刈 取 期 節	除 草 ノ 方 法
					灰	大 豆	粕	人 糞					
圓 錢 厘	十 人	圓 錢 厘	月 日	月 日	月 日 荷	月 日 斗 升 合	貫 百 十 目 月 日	月 日 十 荷	月 日 十 荷	石 斗 升 合	石 斗 升 合	月 日	
圓 錢 厘	十 人	圓 錢 厘	月 日	月 日	月 日 荷	月 日 斗 升 合	貫 百 十 目 月 日	月 日 十 荷	月 日 十 荷	石 斗 升 合	石 斗 升 合	月 日	
圓 錢 厘	十 人	圓 錢 厘	月 日	月 日	月 日 荷	月 日 斗 升 合	貫 百 十 目 月 日	月 日 十 荷	月 日 十 荷	石 斗 升 合	石 斗 升 合	月 日	
圓 錢 厘	十 人	圓 錢 厘	月 日	月 日	月 日 荷	月 日 斗 升 合	貫 百 十 目 月 日	月 日 十 荷	月 日 十 荷	石 斗 升 合	石 斗 升 合	月 日	

蟲害等ノ狀況	同驅除法	一石當賣直段	備考			
		玄米圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
受持試驗田巡回中ノ狀況別紙離形ニ依リ日誌調製一ヶ月毎ニ取纏メ翌月五日限リ御進達相成度此段申進候也						
明治二十四年七月三日						
高田惣五郎殿						
内田太一郎殿						
大神伊右衛門殿						
吉村又藏殿						
試驗田巡回日誌						
何月何日						
一何郡何村誰試驗田ヲ巡視ス異狀ナシ						
一同郡何村誰試驗田ヲ巡視ス螟蟲發生ノ狀況アルヲ以テ何々ノ驅除ヲ行フ						

同月何日
一何郡何村誰試驗田ヲ巡視ス給水方不完全ニ付キ其方法ヲ示ス
一何郡何村誰試驗田ニ於テ第何次蟹爪ヲ使用ス
同月何日
一何郡何村誰試驗田ヲ巡視ス給肥ノ時節ナルヲ以テ何肥ヲ施行ス
一何郡何村誰試驗田何々ノ廉不注意ニ付キ改良法ヲ示ス
同月何日
一何郡何村誰試驗田發育尤モ宜ク既ニ抽穂セリ
一何々
右ノ通り相違無之此段報告候也
年 月 日
何 誰
埼玉縣知事宛

第二 試驗田區域位置及試驗人住所姓名

試驗田區域及位置ハ試驗人任意ノ撰定ニ係ルモノニシテ其試驗人ハ何レモ稻作篤志

家中各自ノ希望ニヨリ其撰ニ當リシモノトス故ニ或ル郡ハ其人數多キモ他ノ郡ハ否
ラサルモノアリ又反別ニ廣狹アリ地位ニ高下アルヲ免レンス而シテ本年設置試驗田ノ
箇所ハ五十有二ヶ所試驗人ノ數ハ五十又一名ナリトス之レヲ前期即チ廿三年度ニ比
スレハ其増加スルヲ四十ヶ所四十一名ナリトス斯ク箇所ニ人數ニ増加ヲ來ス所以ノ
モノハ當業者改良ニ熱心ナルノ致ス所ナルハ勿論ナリト雖モ亦以テ改良法前期試驗
ノ成績實施上ニ於テ好結果ヲ得タリシニ基因セリト云ハサルヲ得ス其詳細ノ事項ハ
即チ左ノ如シ

第一 區

試驗田位置	地位等級	反別	試驗人住所	姓名
南畑村下南畑字天神前	乙九等	七畝十八步	入間郡南畑村上南畑	柳川菊次郎
宗岡村字五井戸	二等甲	一反三畝十三步	全郡宗岡村宗岡	金子直三
鴻巣町字沼田	七等乙	一町四畝十一步	北足立郡鴻巣町鴻巣	根岸清兵衛
北平柳村三ツ和字八幡木	八等	一反一畝六步	全郡北平柳村三ツ和	大熊徳太
膝折村膝折字北浦	九等乙	一反二十七步	新坐郡膝折村膝折	大畑三郎
土合村鹿手袋字一丁田町	十一等甲	四畝二十二步	北足立郡土合村鹿手袋	永堀藤

深作村字血沼	五等	七畝步	北足立郡大砂土村堀崎	飯島常八
成田村上川上字前田	七等甲	五畝十五步	北埼玉郡成田村上川上	稻村貫一郎
成田村上川上字東北島	八等甲	六畝十八步	全郡成田村上川上	稻村貫一郎
大越村大越字下寺前	九等乙	一反七畝廿二步	全郡大越村	野中平助
太田村小針字本郷	二 等	一反四畝十八步	全郡大田村小針	田島竹之助
鴻莖村牛重字中前	二 等	一反五畝十三步	全郡鴻莖村牛重	小坂伊三郎
羽生町上羽生字野田前		八畝十三步	全郡羽生町上羽生	藤井儀助
羽生町羽生字簀澤	一等乙	一反八步	全郡羽生町羽生	三木常太郎
羽生町羽生字東谷	二等乙	六畝八步	全郡羽生町羽生	小久保健吉
第 二 區				
川越町川越反町	三等乙	五 畝 步	入間郡川越村	平田與右衛門
南古谷村澁井字川久保	乙 等	四畝十六步	全郡南古谷村	高橋金五郎
日東村大袋葛	二等乙	八 畝 步	全郡日東村大袋	伊藤福三
三芳野村中小坂西谷ッ	二 等	六畝十五步	全郡三芳野村中小坂	栗原利助
入西村中里稻荷	一等甲	四畝十六步	全郡入西村中里	橋場總吉

勝呂村石井字樋尻	二等甲	一反二畝步	高麗郡勝呂村	小川高伴
八ッ保村畑中字村西	八等甲	五畝十三步	比企郡八ッ保村畑中	福島濱三郎
宮前村水房字表前	七等乙	七 畝 步	全郡宮前村水房	吉野米三郎
小川町西大塚字御門	十一等乙	六 畝 步	全郡小川町西大塚	加藤忠雄
野本村下野本字中曾根	九等甲	四畝二十步	全郡野本村下野本	加藤市太郎
南吉見村久保田字汲田	八等甲	八畝二十九步	横見郡南吉見村久保田	大奈良馬三郎
大河原村安戸字寺岡	九等甲	一反二十三步	秩父郡大河原村安戸	平野平三郎
同 村奥澤字肥村	十等甲	七畝九步	同郡同 村奥澤	足立彌平
第 三 區				
尾田蒔村寺尾坊地	十三等甲	一反二畝十七步	秩父郡尾田蒔村寺尾	内由恭太郎
横瀬村字姿	十二等乙	一反三畝步	全郡横瀬村	富田卯太郎
東見玉村根本字赤城	七等乙	一反八畝十七步	見玉郡東見玉村根本	清水房吉
藤田村傍示堂字高田	一 等	一反二畝十六步	全郡藤田村	齋藤兼次郎
本庄町字本宿	六等甲	一反二畝步	全郡本庄町	中塚丑五郎
藤田村傍示堂字前田	八 等	一反五步	全郡藤田村	中村新太郎

共和村蛭川字左口	八等甲	一反八畝四步	兒玉郡共和村蛭川	荻野美世作
北泉村東富田字窪田	七等乙	六畝十三步	全郡北泉村東富田	四方田茂作
藤田村傍示堂字深田	二 等	一 反 步	全郡藤田村	内野歌次郎
丹莊村元阿保字產塚	六等乙	一反三畝廿八步	賀美郡丹莊村元阿保	關根仁三郎
市田村沼黒字次郎治郎郷	一 等	一反二十三步	大里郡市田村沼黒	大河原有太郎
長井村上根字北蒲	八 等	一反三畝十三步	幡羅郡長井村上根	高橋利三郎
三ヶ尻村三ヶ尻字清水	二 等	一反六畝七步	幡羅郡三ヶ尻村三ヶ尻	吉野喜之平
榛澤郡榛澤字河原田	五 等	一反三畝步	榛澤郡榛澤村榛澤	根岸直吉
八基村北阿賀野字中廓	三 等	一反一畝九步	榛澤郡八基村北阿賀野	橋本八郎次
小原村須賀廣字九反町	二 等	一反一畝十八步	男衾郡小原村須賀廣	吉田久平
鉢形村鉢形字町田	三 等	八畝二十五步	全郡鉢形村保田原	新田齋作
肥塚村字八幡上	五 等	一 反 步	大里郡肥塚村	東 毎 太 郎
第 四 區				
行幸村千塚字香取	一 等	八 畝 七 步	北葛飾郡行幸村千塚	遠藤 鐔 吉
松伏領村松伏	九等甲	八 畝 步	全郡松伏領村松伏	石川 金 平

櫻井村椿字中島	二 等 乙	一反八畝步	中葛飾郡櫻井村椿	内田幸三郎
川柳村南青柳字上十六町	七等甲	六畝十七步	南埼玉郡川柳村南青塚	藤波傳左衛門
川柳村南青柳字内	八等甲	七畝十四步	南埼玉郡川柳村南青塚	篠宮新之助
岡泉村字本田	八等乙 九等甲	七畝十貳步 四畝二十七步	全郡岡泉村	齋藤德三郎

第三 教師受持區域

前期即チ廿三年度ニ於テハ二名ノ教師ニシテ區域ヲ分シモ本年度ハ試験田ノ増加ス
ルニ依リ從テ教師モ二名ヲ増シ吉村又藏ヲ(三月)大神伊右衛門ヲ(四月)備入レ區域ヲ四
分シ各其一區ヲ受持タシム其區域及教師屬籍姓名ハ左ノ如シ

福岡縣筑前國怡土村大字高祖

第一區受持

大神伊右衛門

全縣全 國志摩郡可也村大字小金丸

第二區受持

吉 村 又 藏

全縣全 國早良郡脇山村大字脇山

第三區受持

高 田 惣 五 郎

第四區受持

内田 太一 郎

第四 試驗田成績一覽

稻作改良ノ方法ハ要スルニ一定ノモノタルハ前期ト大差ナシ故ニ此等詳細ノ事項ハ前報告ニ細述シタルヲ以テ再ヒ茲ニ贅セス單ニ土地ノ狀況等ニ關シ異同アル要項ノミヲ本期ニ於テ報告スルモノトス即チ種浸ニ川浸、土圍、桶浸等ノ別アリ苗代ニ水陸ノ異アリ又稻種ト地質ニ依リ播種植付ノ期節ヲ異ニシ株數本數ノ同シカラサル從テ收穫ニ増減ヲ生スルアル等はナリ即チ左表ノ如シ

[illegible]

桶浸	廿一日	中稻	關取	陸苗	三〇	二五	日	四	廿六	月	二	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	内田恭太郎	
川浸	廿一日	中稻	荒木	水苗	三〇	廿四	月	三	九	廿五	月	一	本	乃	二八〇〇	二〇〇〇	八〇〇	富田卯太郎
土圍	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	清水、房吉
川浸	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	齋藤菊次郎
土圍	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	四〇〇〇	二六〇〇	一六〇〇	中塚丑五郎
川浸	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	四〇〇〇	二六〇〇	一六〇〇	中村新太郎
土圍	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	荻野美世作
川浸	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	四方田茂作
土圍	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	内野歌次郎
川浸	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	關根仁三郎
土圍	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	大河原有太郎
川浸	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	高橋利三郎
土圍	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	吉野喜之平
川浸	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	根岸直吉
土圍	廿一日	中稻	關取	陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	三〇〇〇	二〇〇〇	一〇〇〇	橋本八郎次

井浸	廿一日	中稻	荒木	代陸苗	三〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	吉田久平
桶浸	廿一日	中稻	荒木	代水苗	三〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	新田齋作
川浸	廿一日	中稻	關取	代陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	東每太郎
土圍	廿一日	中稻	關取	代水苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	田島竹之助
川浸	廿一日	中稻	關取	代水苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	藤井儀助
土圍	廿一日	中稻	關取	代陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	野中平助
川浸	廿一日	中稻	關取	代水苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	小坂伊三郎
土圍	廿一日	中稻	關取	代陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	三木常藏
川浸	廿一日	中稻	關取	代水苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	小久保健吉
土圍	廿一日	中稻	關取	代陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	稻村貫一郎
川浸	廿一日	中稻	關取	代水苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	遠藤鐔吉
土圍	廿一日	中稻	關取	代陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	石川金平
川浸	廿一日	中稻	關取	代水苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	内田幸三郎
土圍	廿一日	中稻	關取	代陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	藤波傳左衛門
桶浸	廿一日	中稻	關取	代水苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	篠宮新之助
土圍	廿一日	中稻	關取	代陸苗	二〇	廿四	月	三	五	廿三	月	一	本	乃	二〇〇〇	一六〇〇	八〇〇	

桶浸	十五日	晚稻	小赤	水苗	一五四日	三六十八日	一本	二五五〇	二二八〇	三七〇	齋藤德三郎
----	-----	----	----	----	------	-------	----	------	------	-----	-------

備考 本表中普通田同上トアル欄ニ記入セル收穫高ハ本年試驗田トナセシ田地ニ
係ル從來ノ數量ヲ掲クシモノニシテ即チ其地力ヲ示スモノトス

第五 試驗田ノ狀況

種粃浸圍ヨリ插秧以降ニ係ル各試驗田培養ノ事項等之レヲ三部ニ分チ更ニ之レヲ郡
別トシ試驗人毎ニ掲クルルハ左ノ如シ

一 種粃浸圍ノ狀況

北足立新坐郡

本郡内ニ於テハ水圍ト土圍トヲ試驗セシカ其狀況ハ左ノ如シ
一根岸清兵衛ノ分ハ水圍ニシテ其腐敗セルモノ七分五厘ニ及ヘリ其原因ハ種子水圍
中賊難ヲ恐レ木製ノ箱ヲ造リ(水ノ流通ハ多少ア)テ之ヲ元荒川中ニ沈メ其内ニ粃種
ヲ入レ置キシヲ以テ或ハ水ノ疏通充分ナラサルヨリ腐敗ヲ來シタルモノナラン乎
此腐敗ニ依リ粃種ニ不足ヲ生シタルニ依リ曾テ本縣ヨリ下付ノ關取種ヲ元荒川ノ

川底砂利下ヘ圍ヒ置キ(二月四日之ヲ行フ)タル分好結果ヲ得タルヲ以テ不足粃(二
畝歩程ノ分)ノ補トナセリ

一大熊德太郎ノ分ハ客年秋收ノキ改良法ニ依リ穗撰ミヲナシタルモノヲ以テ之ニ充
用シ原量五升ノ長者坊主種ヲ土圍トナセリ其結果充分ニシテ瑕瑾ナシ

一飯島常八ノ分ハ田島種ヲ鹽水ニテ撰ミ四月上旬桶浸ニ爲シ置キタルト又土圍ニナ
セシモノトス此土圍ノモノハ腐敗歩合一分アリタリ其原因ハ普通取リノ種粃ナル
ヲ以テ自然不完全ノ粃ヲ存シタルナラン加フルニ土圍中非常ニ發芽ヲ早メタルヲ
以テ種々手當ヲ爲セシモ遂ニ苗代中ニ於テ九分通り腐敗セリ

一大畑三郎兵衛ノ分ハ水圍ヲ行ヒシモ彼岸頃ニ至リ渴水ノ爲メ止ムヲ得ス他ノ流水
アル場所ニ移リタルニ水量淺キニヨリ更ニ砂礫混交セル場所ヘ埋メ其上ヲ流水ノ
疏通スルヲ爲シタルニ四月上旬頃ニ至リ凡ソ半數ハ腐敗ヲ來セリ是ノ原因ハ渴
水ノ爲メ幾分ノ溫氣ヲ受ケタルモノヲ再ヒ冷水ニ浸シタルニ依ルナラン然レモ試
驗田ニ充ツル種苗ニハ差支ヲ來ス程ニ至ラザリシ

一永堀藤五郎ノ分ハ最初土圍ヲ行ヒシモ土地ニ適セサルニ依リ更ニ四斗樽ニ水ヲ汲
入レ之ニ粃種二升ヲ藁包ニ入レタル儘漬ケ日光ノ直射セサル空氣流通ノ善キ所ニ
置キ彼岸迄ハ十日目位毎ニ水ヲ汲ミ換ヘ粃種ヲ上下ニ返シ夫レヨリハ三日目位ニ

此ノ如クセシニ毫モ腐敗等ノ憂ハナカリシ然レモ苗代蒔付後其發芽セシノミニテ成長セサル者アリシ之ヲ查察スルニ撰種充分ナラサルニ起因セシモノ、如シ

入間高麗郡

本郡内ニ於テ圃糶ノ結果ハ頗ル佳良ナリ但シ伊藤福三ノ分ハ二歩ノ腐敗アリシ

比企横見郡

本郡ニ於テハ悉皆水圃ニシテ土圃ヲ行ハス其狀況ハ左ノ如シ

一加藤市太郎吉野米三郎ノ分ハ腐敗セシモノナシ

一福島濱次郎加藤忠雄大奈良馬三郎ノ分ハ腐敗セシモノ凡ソ九分ニ至ル其原因ハ未タ確知スルヲ能ハス或ハ晩刈ノ糶ヲ永ク水ニ浸シ置キタル爲ナラン乎

秩父郡

本郡内モ水圃法ヲ行フモノニシテ其狀況ハ左ノ如シ

一平野平三郎足立彌平ノ分ハ少シモ腐敗セス

一内田恭太郎ノ分ハ悉皆腐敗セシモ只教師ノ携來セシ一升ノ糶量凡ソ五合位ハ無事ナリシ

一富田卯太郎ノ分ハ腐敗セルモノ多ク五升糶種ノ内發生スヘキモノハ僅ニ五合以内ナリシ

兒玉賀美郡

本郡ハ土圃ト水圃トヲ實施セシカ關根仁三郎土圃ノ分ハ悉ク腐敗セリ其他ハ水圃ニシテ腐敗セシモノナシ又其種子ハ清水房吉ノ分ヲ除クノ外悉皆改良法ニ依リ撰種シタルモノニシテ同人モ他日撰種法ヲ改メタリ

大里幡羅榛澤男衾郡

一東毎太郎ノ分ハ普通法ニ依リ收納セシ早稻二本三種ノ糶ヲ唐箕ニテ五六回吹返シ一升ノ量目二百九十匁トシ二月十日桶浸ニ爲セリ其腐敗ハ二分通りニ至レリ是レ昨年霖雨ノ爲メ倒伏セシ稻田ノ種糶ヲ用ヒ其勢力弱キ故カ將タ少ク發芽ノ萌シアリシモノヲ用ヒタルニ依ルナランカ

一高橋利三郎ノ分モ撰種ハ前項ト同様ニシテ種糶ハ二番穗ヲ唐箕ニテ七回吹キ返シ三斗ノ内四升五合ノ糶種ヲ得タリ其一升ノ目方ハ三百目ナリ越テ一月十六日中稻白斗損糶種ト中稻赤斗損糶種ヲ桶浸ニシ三日間ヲ經テ土圃ニ爲セリ然ルニ白斗損糶種ハ充分熟シ過キタル種ナル故乎浸水中七分通り腐敗シ赤斗損糶種ハ二番穗ナルノミナラス且取リ時ノ後レタルヲ以テ勢力弱ク爲メニ土圃中九分通り腐敗セリ

一橋本八郎次ノ分モ撰種等ハ前項ニ同シク一月十八日一番穗ヲ用ヒ桶浸ニ爲セリ其浸水中腐敗セシモノナシ

一新田齋作ノ分ハ中稻京女郎種ヲ唐箕ニテ五六回吹返シ一升ノ目方貳百九十匁トシ
一月十九日桶浸ニ爲ス此浸水中腐敗セルモノナキモ又發芽ノ氣味ナキヲ以テ二月
廿三日更ニ肥糞ヘ種子ト小石ヲ混交シ井中ニ浸セシモ更ニ發芽セサリシ其原因ハ
流動セサル水中ヘ浸セシト種子ノ充分熟セシモノナルトニ依ルヘシ其他前項ニ同
シ

一根岸直吉ノ分ハ晚稻斗損種ヲ一月三十日河水ニ浸種セシニ少シモ腐敗セス其他方
法ハ前項ニ同シ

一吉田久平ノ分ハ中稻荒木種ヲ一月廿日溜井ニ浸セシニ腐敗及ヒ發芽ノ氣味ナシ其
他ノ方法ハ前項ニ同シ

一吉野喜之平ノ分ハ中稻荒木種ヲ立稻ノキ一株ノ内ヨリ親穗ヲ除キ又一穗中穗元ヲ
除キ穗粃ヲ扱キ取り種子トシ唐箕ニテ七回吹返シ凡ソ四斗ヨリ一斗三升ヲ取り尙
鹽水攪擇ヲ爲シ其浮キタルモノ三升ヲ除キ一月八日桶浸ニ爲シ嚴寒ノ日ニハ毎朝
日光ヲ充テ温氣含マシメ桶ノマヽ又寒中ハ一週間ニ一回立春以後ハ毎夜井水ヲ酌
ミ置キ每翌朝其水ヲ取換ヘタリ而シテ腐敗セシモノハ更ニナシ

一大河原有太郎ノ分ハ前ト同一ノ稻種ナルモ昨年水害ニ係リタル二番穗ノ種子ヲ唐
箕ニテ四五回吹返シ粃貳斗五升ヨリ五升ヲ得之ヲ一月廿日桶浸ニ爲シ毎日或ハ隔

日ニ水ヲ取換ヘ四月廿日桶ヨリ揚ケタリシニ未タ發芽セサルニヨリ翌日ヨリ毎日
一時間或ハ二時間日光ニ充テ發芽ヲ促セシモ發芽セス漸ク五月二日ニ至リ少シク
發芽ノ狀ヲ呈セリ

北埼玉郡

本郡内ハ凡テ水園ニシテ敢テ異狀ナキモ獨リ田島竹之助ノ分ハ其腐敗ヲ見ルコト割
ニ及ヘリ其原因ハ教師ノ注意アルニモ拘ハラズ浸水中ノ注意周到ナラサルカ爲メニ
シテ即チ時候ノ寒暖ト流水ノ増減ニ關セス只浸水ノミ行ヘハ可ナルモノト誤認セシ
ニ依ル

南埼玉郡

本郡内水園ト土園トヲ行ヒシニ其狀況ハ左ノ如シ

一藤波傳左衛門ノ分ハ桶浸ニシテ腐敗セルモノ僅々十中ノ一二位セリ是シ全ク種粃
ノ精撰セシモノナキヲ以テ兼テ貯ヘ置キタル行田種ノ中ヨリ佳良ナルモノヲ充用
セシニ依リ幾分平不良種ノ混入セシニ依ルナラン

一齋藤德三郎ノ分ハ腐敗セシモノ更ニナシ

一篠宮新之助ノ分ハ土園法ヲ行ヒシニ最初物置ノ軒下ニ於テセシヲ以テ雨水侵入シ
爲メニ七升ノ内二升程腐敗セシモ後教師ノ注意ニ依リ場所ヲ變更シタルヲ以テ再

ヒ損害ヲ受ケサリシ

北中葛飾郡

本郡モ水園ト土園トヲ行ヒシニ其狀況ハ左ノ如シ

- 一遠藤鐔吉ノ分籾種腐敗ノ割合ハ水浸ニ於テ六分桶浸ニ在テハ二分ナリ其原因ハ種籾ノ撰擇充分ナラサル等ニ依ルナラン
- 一石川金平ノ分ハ土園ノ爲メ腐敗セシ籾種ナシト雖モ桶浸ノ分ハ三月下旬已ニ發芽ヲ催スニ至レリ依テ其發芽セシ分ヲ撰拔シテ畑苗代ヲ仕立テシニ鼠害ヲ被リ二升五合ノ籾種過半ハ亡失セリ
- 一内田幸三郎ノ分ハ水浸ニシテ腐敗ノ歩合三分ニ止マル其原由ハ遠藤鐔吉ノ項ニ述ルカ如シ

二苗代田狀況

北足立新坐郡

本郡内苗場ハ五月二十二日前播種ヲ了セリ其狀況ハ即チ左ノ如シ

- 一沿岸清兵衛ノ分ハ綠苗生育非常ニ能ク從テ螟蟲散見セシヲ以テ其局所ヨリ折リ取リ悉ク壓殺驅除ヲ爲セリ
- 一大熊德太郎大畑三郎兵衛永堀藤五郎ノ分ハ蟲害等毫モ無カリシ

一飯島常八ノ分ハ土園籾ヲ陸苗代ニ播種セシハ普通下種ノ季節ヨリ二十日以上早キヲ以テ近隣田圃ニ絶ヘテ播種セシモノナキノミナラス畑苗代ナレハ鳥類ニ食餌ヲ與ヘタルカ如ク爲ニ雀害甚シク先キニ土園中九分ノ腐敗ヲ招キ今又此害ヲ受クルヲ以テ種々除害ノ方法ヲ行ヒシモ籾種ハ皆無ニ歸セリ依テ鹽水撰ノ分四月上旬桶浸ニ爲シ置キタルモノヲ以テ充用セリト云フ

入間高麗郡

本郡内苗代ハ栗原利助ノ陸苗代ヲ除クノ外何レモ水苗代ニシテ四月廿六日ヨリ五月八日マテニ播種ヲ了シ其發芽早キハ五月一日晚キモ同月十日ニ出テス其狀況ハ一時非常ノ旱魃ナリシニモ拘ハラズ一般佳良ニシテ甲乙ナシ目下(五月)一寸五分以上二寸五分ニ成苗シ移植ハ六月中旬ヨリ同下旬ノ見込ナリ然レモ小川高伴ノ分ハ一時葉卷蟲螟蟲ノ發生スルコト少シクアリシ然レモ敢テ苦慮スル程ニ至ラザリシ

比企横見郡

本郡加藤市太郎ノ分ハ發芽充分ナラス吉野米三郎分モ雀害ヲ受クルコト甚シク種々ノ方法ヲ以テ之ヲ防キシモ其効ナカリシ其他ノ狀況ハ左ノ如シ

- 一福島濱次郎ノ分ハ鹽水法ニ依リ撰種シ五月八日水苗代ニ播種ス其坪數十六坪ナリ發芽ノ分合ハ二分

一大奈瓦馬三郎ノ分ハ普通法ニ依リ撰種シ同月二日水苗代ニ播種ス其坪數十坪發芽ノ歩合前ニ同シ

一吉野米三郎ノ分ハ同月一日播種坪數八坪トシ其他前全斷

一加藤市太郎ノ分ハ同月四日播種坪數十一坪發芽ノ分合七分其他前同斷

一加藤忠雄ノ分ハ水苗代ニシテ五月九日播種發芽ノ分合一分其他前同斷

右ノ如ク發芽ノ宜シカラサル原因ハ未タ確知スルヲ能ハサルモ加藤市太郎ノ本年試作セシ粃ハ一ハ早刈一ハ晚刈ノモノヲ同一ノ桶浸トシ播種セシニ早刈ノ分ハ本表ニアル如ク七分ノ發芽ヲ得タルモ晚刈ノ分ハ二分以内ノ發芽ナリシト之ヲ以テ推スルハ他ノ試驗田ニ供シタル粃モ晚刈ノ爲ナラシカト想察ス

秩父郡

本郡内苗代田ノ内平野平三郎及内田恭太郎ノ分ハ鳥蟲害ニ罹ラス悉皆發生シ足立彌平ノ分ハ鳥蟲害ニ罹リタルノミナラス殊ニ野鼠ノ爲メニ害セラル其蟲害ハ苦木ノ汁ヲ以テ三回程之ヲ散布シ驅除スルヲ得タリ又富田卯太郎ノ分ハ螟蟲發生セシカ幸ニシテ驅除スルヲ得タリ

兒玉、賀美郡

本郡ニ於テハ何レモ陸苗代ヲ行ヒシニ其狀況ハ左ノ如シ其他ノ分ハ時々巡見シテ雀

害等ヲ驅除シ敢テ異狀ナク其害ニ罹ラサルモノニ至テハ生育極メテ可ナリシ

一荻野美世作ハ陸苗代ニシテ旱魃ノ爲メ三分ノ損害アリ

一齋藤菊次郎 内野歌次郎 中村新太郎モ陸苗代ニシテ苗代ノ近傍ニ小屋掛ヲ營ミ

鳥蟲害ヲ豫防驅除セリ

一四方田茂作ハ雀害ヲ豫防セント欲シ藁ヲ多量ニ覆ヒタル爲メ蟲害ヲ醸シタルニ依リ苗代ヲ改設シタリ

大里、幡羅、榛澤、男衾郡

本郡内苗代ノ狀況ハ左ノ如シ

一東每太郎ノ分苗代田ノ坪數ハ十四坪六合ニシテ其整地方ハ兼テ畊鋤セシ土ヲ細粉ニスルヲ前後三回巾三四尺ノ畝ニ作リ人糞四荷及釀肥酒粕二斗醬油粕四斗米糠二斗水一斗混シ十五日間毎日ノ内薄キ物三荷ヲ施シタリ其播種方法ハ四月廿三日ニ至リ桶ヨリ粃種ヲ揚ケ苗代ヘ種子ヲ下シ其上ヘ篩ニテ細末土ヲ二分程振掛ケ其上ヘ藁ヲ薄ク置キ繩ヲ張リ以テ藁ヲ押サヘ五月九日ニ至リ之ヲ取除キタリシニ既ニ一寸程發芽セリ爾後テントウ蟲ノ爲メ地下ヲ堀ラレ害ヲ受ケタルヲアルニ依リ五月六日一時ニ水ヲ灌キ入レ該蟲四五十疋ヲ驅除シ直ニ水ヲ排除ス又雀ノ害ヲ受ケ種々豫防スルモ其効ナク爲メニ同月十七日ヨリ十五六日間人夫ヲ以テ鳥逐ヲ爲サシメ

其害ヲ防クヲ得爾來成長最モ佳良ナル苗ヲ見ルヲ得タリ

一高橋利三郎ノ分ハ陸苗代ニシテ坪數八坪其仕立方ハ十一月十五日一回畊鋤シ置キ
其他前項ニ述フル如ク苗坪廿五坪ニ付キ人糞二斗馬糞半荷米糠壹斗貳升五合ヲ風
呂水五斗ニ混入シ施肥シ四月廿一日ニ至リ土圍ニセシ種子ヲ出セシニ二分通發芽
セシヲ以テ同日直チニ苗代ニ播種セリ五月十三日上押ヘノ藁ヲ取去リシニ此時既
ニ發生セシモノ五分程ニ伸長セリ播種法等ハ前項ニ同シ爾來蟲害ハ幸ニ無カリシ
モ雀害ヲ受ケタルニ依リ藪ヲ塗リタル糸ヲ四寸程ハ距離ニ張り以テ驅除スルヲ
得タリ

一橋本八郎次ノ分ハ水苗代五坪ト陸苗代二十坪ニシテ大略前項ニ同シキモ陸苗代ハ
燒土肥ヲ一坪ニ付壹斗八升ヲ用ヒ水苗代ハ燒土ノ外一斗竹葉蕎麥殼ヲ混セシ人糞
二荷ヲ施肥セシニ陸苗代ハ播種後九分通り腐敗シテ發芽セス是レ播種ノ後降雨ナ
ク乾燥ニ過キタルニ依ルナラン又水苗代ハ二分通り腐敗セリ其原因ハ種子ノ充分
熟セシニ因ルナルヘシ此地ハ鳥蟲害ハ更ニ受ケサリシ

一新田齋作ノ分苗代田ハ五十坪ニシテ其仕立方ハ稻田ヲ畊鋤シ細末土ト爲シ三四尺
宛八畝ニ爲シ試驗ノ爲メ一畝毎ニ篠笹及竹笹或ハ葡萄刈豆等ヲ各別ニ踏込ミ人糞
ヲ施シ而シテ四月廿六日籾種ヲ桶ヨリ引揚ケ苗代ヘ種子ヲ振込ミタリシニ發芽不

良ニシテ八分通り腐敗シ且雜草ノ生スルニ依リ五月廿七日除草ヲ爲セリ又雀害ヲ
受ケタルニ依リ木綿糸ヲ細ニ縱横ニ張り以テ其害ヲ防キタリ其他ハ前項ニ同様ナ
リ

一根岸直吉ノ分ハ苗代坪數十坪ニシテ其整地方法ハ前後三回畊鋤シ土ヲ細粉ニシ一
月上旬人糞二荷ヲ二月中旬人糞一荷ト燒土一石一斗ヲ施シ其他前項ノ如クシ播種
セシモ七分通り發芽セス残り三分ノ内隣田水苗代ヘ水ヲ注ギタルヨリ自然侵水ノ
害ヲ受ケ苗ハ赤色ヲ呈シ成育セサルニヨリ其内ヨリ稍好良ナルモノヲ撰取シ植付
ヲ了セリ右結果ノ十分ナラサリシハ充分ニ熟セシ種子ナルニ依ルカ又ハ鳥害ヲ恐
レ藁及ヒ薦ヲ厚ク覆ヒタル爲ナランカ

一吉田久平ノ分ハ播種後九分餘腐敗シテ發芽セサルヲ以テ一週間後不得止之ヲ全廢
シ更ニ普通籾種ヲ三月三十一日溜井ニ浸シ四月廿六日水苗代ニ播種セリ其方法ハ
渾テ舊慣法ニ依ル然ルニ雀害ヲ受ケタルヲ以テ細カニ白木綿糸ヲ縱横ニ張り以テ
其害ヲ防キタリ

一吉野喜之平ノ分ハ苗代坪數十六坪ニシテ其仕立方前項ト略同一ニシテ肥料ハ人糞
五荷一回同四荷一回都合二回ヲ施シ四月廿二日桶ヨリ籾ヲ揚ケ種子ヲ苗代ニ振
ミ籾種ノ上ニ厚サ四分程土ヲ掛ケ其上ニ藁ヲ薄ク置き五月二日發芽セルヲ以テ同

月十二日其覆ヒテ除キ同月十八日夜乾燥ニ失スルノ虞アルヲ以テ水ヲ注キ翌朝ニ至リ之ヲ排除セリ爾後雀害少許ヲ受ケシモ種子ノ發生濃厚ナルニ依リ却テ僥倖ヲ得テ適度ノ生立トナレリ

一大河原有太郎ノ分ハ略前項ト同一ノ苗代仕立方ヲ爲シタリ而ルニ播種後九分餘腐敗スルヲ以テ之ヲ全廢セリ是レニ番穗ナルニ依リ勢力弱ク且ツ日光ニ晒シ乾燥スルノ際水ヲ掛ケツ、行ヒシニ依ルナラン

北埼玉郡

本郡内ノ狀況ハ別ニ記スヘキモノナシ尤モ苗代田ニ於テハ虫害ノ豫防ヲ行ヒタルヲ以テ其害ナカリシモ多少雀ノ害ヲ受ケ籽種ノ量ヲ減セシ所アリ

南埼玉郡

本郡苗代田ノ内藤波傳左衛門篠宮新之助ノ分ハ鳥虫ノ害ヲ受ケス無事ナリシモ齋藤德三郎ノ分ハ小赤種ヲ苗代ニ種下シテ爲シタル際養水ノ乏キニ依リ溜水ニ濁水ノ混シタルモノヲ灌キタル爲メ凡ソ四升ノ内二升八合程敗腐ヲ來セリ信州種ハ幸ニシテ腐敗セシモノ更ニナク又渾テ鳥虫等ノ害ヲ受シヲナク且ツ苗ノ發生頗ル可ナリ

尙六月一日ノ現況ニ依レハ客年ハ何レモ氣候不順且多少水害ノ爲メ稻種不充分ナルニモ拘ハラス寒水浸等ノ手續ヲ爲スモ意外ニ腐敗少ク發芽最モ良好ニシテ播植後モ

成育殊ニ著シ

北中葛飾郡

本郡ニ於テハ苗代ニ於テ虫害ノ虞ナシト雖モ念ノ爲メ遠藤鑄吉ハ蚊帳ノ古布ヲ以テ「サデ」ヲ作り兩度螟蛾ヲ捕殺シ又内田幸三郎ハ誘殺法ヲ行ヒ火ヲ點シテ螟蛾ヲ誘殺セリ

三插秧後發生ノ狀況

北足立、新坐郡

本郡ヲ通觀スルニ插秧以後ノ狀況甚タ可ナリ七月廿三日ノ現況ハ左ノ如シ

一 根岸清兵衛ノ分ハ七月六日一番除草ヲ行フ其生育ノ狀況ハ莖太ク葉幅廣ク丈ノ長キヲ普通ヨリ二寸程長ク其色濃青ヲ呈シ近隣田ニ比シ著シク好良ナリ

一 大熊德太郎ノ分ハ同月廿八日蟹爪ヲ以テ一番除草ヲナシ七月二十日二番除草蟹爪ヲ用ヒスヲ行フ生育ノ狀況ハ前述ト同シク著ク佳良ナリ

一 飯島常八ノ分ハ七月三日先ツ方言「コスリマンガ」ヲ以テ除草シ七月十日一番除草ス其生育ノ狀況ハ前述兩人ト異ナルコトナク至テ佳良ナリ

一 大畑三郎兵衛永堀藤五郎ノ分ハ整然トシテ莖葉肥大其色濃青ヲ呈シ其中稻ナルニモ拘ハラス早稻ニ超越スルノ出來ナレハ一見シテ普通田ト區分アルヲ知ルヘシ

入間、高麗郡

本郡ヲ通觀スルニ七月十四日ノ狀況ニ依レハ概シテ良好ナリ之ヲ細別スレハ金子直三ノ分ヲ第一等トシ隣田ニ比シ實ニ霄壤ノ差アルカ如シ之ニ亞クテ平田與右衛門、高橋金五郎、橋場惣吉、伊藤福三トシ其他ハ亦之ニ亞クモノトス即チ左ノ如シ

一平田與右衛門ノ分ハ一株十四五本内外ニ繁茂セリ

一柳川菊次郎ノ分ハ十本内外ニ茂レリ

一金子直三ノ分ハ二十本内外ニ上ル

一橋場惣吉ノ分ハ十三四本内外ニ上ル

一高橋金五郎ノ分ハ十本内外ニ上ル

一伊藤福三ノ分ハ十本内外ニ上ル

一栗原利助ノ分ハ直播ナルモ他苗ニ比シ頗ル上出來ナリ

一小川高伴ノ分ハ十本内外ニ上ル

又其後ノ狀況ハ左ノ如シ

一金子直三ノ分ハ稻作氣候順當ニシテ繁茂宜ク諸蟲害ナク八月十五日頃ヨリ出穂ノ狀ヲ顯シ同二十日ニ至テ悉皆出穂目今(下旬)ニ至テハ過半成熟薄黃色ヲ呈シ今後暴風等ノ變ナクソハ一反歩ノ收穫凡ソ一石八斗ヲ得ルノ見込ナリ

一伊藤福三ノ分ハ七月八日ニ至リテ一反歩ニ付餅粕ノ細粉二斗五升ヲ散布シ同時

ニ蟹爪打ヲ行ヒ同十四日ヨリ八月五日迄ニ三回除草シ同日ヨリ五日間田面ヲ乾

カシ爾後灌漑シテ乾燥セシメサリシニ同二十七日頃ヨリ出穂ヲ始メ九月五日ニ

至リ悉皆開花セリ之ヲ他ノ舊慣法ニ於ケル稻秧ニ比較スルニ稻幹長大且ツ強剛

出穂ノ早キ稻穗ノ長大ナル等數等ノ差異アリ故ニ今後異狀ナクソハ凡ソ一反歩

ニ付四斗五升以上ノ增收穫アルヘシ

一栗原利助ノ分ハ氣候適順ニシテ用水充分ナリシ爲メ蒔附並ニ移植ノ分共非常ニ

繁茂シ八月十四日除草ヲ終リ同二十五日二十六日頃ヨリ出穂シ九月四日五日頃

開花ス而シテ生育中無病無蟲害ナリシヲ以テ今後暴風洪水等ノ變災ナクソハ一反

歩ノ收穫三石以上ナルヘシ

一小川高伴ノ分ハ七月二十日頃ヨリ稍螟蟲發生ノ兆候アリシヲ以テ之カ驅除法ト

シテ一反歩ニ付石油四五合ヲ注入セシニ速ニ其功ヲ奏シ忽チニシテ防遏スルヲ

得タリ當今稻株繁茂一株凡ソ二十七八本乃至三十本稻莖ノ丈々四尺ニ至リ一反

歩ノ收穫ハ凡ソ三石ヲ得ルノ見込ナリ

一平田與右衛門ノ分ハ八月廿八日ノ實況ニ依レハ收穫殆ント四石ニモ至ルヘク故

ニ近傍農家ヨリ來觀スルモ毎日五六人ツ、モアリテ皆驚キ去ルノ狀況ナリ

比企、横見郡

本郡内各試験田ハ七月廿一日ノ現況ニ依レハ生育極メテ佳良葉莖壯大ニシテ葉色青黒ヲ帶ヒ一見シテ普通田トハ一番除草ト二番除草トノ差アルカ如キ異様アルヲ知ル

秩父郡

本郡七月十五日ノ現況ニ依レハ生育最モ好ク一見シテ尋常ノ稻苗ニアラサルヲ知ル

兒玉、賀美郡

本郡ハ七月十日ノ現況ニ依レハ插秧後ノ生育最モ佳良ナリ又九月上旬ノ現況ニ依レハ郡内各試験田何レモ好況ヲ呈シ之ニ模造スルモノモ其發育ノ景況ハ一瞥舊慣法ト大差アリ其收穫ニ至リテハ一反歩ニ付キ凡ソ八斗以上ノ増加ヲ見ルヘシ殊ニ藤田村大字傍示堂ノ分ハ試作人最モ熱心ニ業務ニ從事セシニヨリ試験田中ノ模範タルカ如シ此郡内ニ於テ篤志者ノ模造試験田モ亦實ニ少カラス亦以テ稻作改良實益ノ一斑ヲ見ルニ足ラン

大里、幡羅、榛澤、男衾郡

本郡内各試験田七月十一日ノ現況ニ依レハ左ノ如シ

一東毎太郎ノ分ハ六月十七日田麥ヲ刈取リタル跡ハ讓肥ヲ施シ又酒粕二斗(乾カシ細ニセシモノ)

ヲ田面ニ散布シ後水ヲ注キ縱横ニ四回馬ヲ以テ搔耕セリ後廿六日ニ至リ苗ヲ一本ツ

、指頭ニテ徐カニ採取リ田面ヘ縱ニ繩ヲ張り一尺毎ニ印ヲ付シタルモノヲ擇テ正ク即日植付タルヲ以テ屈曲ナク苗株ノ距離ハ縱横一尺ニシテ其成育最モ能ク蟲其他ノ害コレナシ

一高橋利三郎ノ分ハ插秧田ヘ六月廿一日燒酎粕七貫目(乾燥ノモノ)大豆一斗メ粕一斗ヲ施肥シ其後水ヲ注キ縱横ニ三度馬耕シ整地ヲ爲セリ而シテ苗取ノ方法ハ前項ニ述フル如ク又苗ノ勢力ハ黒色ヲ呈シ隣田ニ比スレハ成育最モ良シ

一橋本八郎次ノ分ハ大略前項ト同一ナリ

一新田齊作ノ分ハ大略前項同一ノ方法ニ依リ木葉馬肥四十貫目ヲ施シタリシモ苗代跡ヲ試験田ニ爲セシ爲メ成育不良ナリ

一根岸直吉ノ分ハ十一月中一回耕鋤シ一月中馬肥三十把(一把ハ五六貫目)ヲ散布シテ耕鋤シ其後田豆ヲ蒔キ五月十九日之ヲ鋤込ミ水ヲ注入シ同廿一日ヨリ三日間一日一回ツ、都合三回縱横ニ馬鋤ニテ搔キ同月廿五日代搔ヲ爲ス其插秧ニ關スル方法ハ前項ノ如クセシニ插秧ノ時ハ苗赤色ヲ呈シ見跡甚惡シカリシモ漸次其勢力ヲ逞シ七月初旬ニ至テハ隣田ニ比シ成育一層佳良トナレリ

一吉田久平ノ分插秧田耕鋤ノ方法前試作人ト稍同シ其肥料ハ馬肥二十駄(一駄三十貫目)腸糠二本ヲ施シ二度耕鋤シ前後三回搔耕シタリ其成育ノ狀況隣田ヨリ稍良ナリ

一吉野喜之平ノ分ハ插秧田一反六畝七歩ノ内八畝歩ハ馬耕ヲ爲シ麥ヲ播種シ殘歩ハ大豆ヲ蒔タリ而シテ之レヘ水ヲ引入レ前後三回鋤返シ肥料ハ春ニ至リ馬肥百七十把(一把六貫目)ヲ施シタルノミニシテ畊鋤ノ際ハ別ニ施肥ヲ爲サス插秧ノ方法ハ前項ト同様ナリシニ苗ノ成育最モ佳良ニシテ本郡試驗田中第一等ノ景況ナリ

一大河原有太郎ノ分ハ五月廿二日田面ヘ水ヲ注ギ六月二日二度畊鋤シ釀肥(人糞二荷馬糞二荷)ヲ施シタルノミニシテ畊鋤ノ際ハ別ニ施肥ヲ爲サス插秧ノ方法ハ前項ト同様ナリシニ苗ノ成育最モ佳良ニシテ本郡試驗田中第一等ノ景況ナリ

北 埴 玉 郡

本郡七月十日ノ現況ニ依レハ普通ノモノヨリ苗丈ク一二寸長ク莖葉太ク濃厚青色ヲ呈シ一見シテ其異様ナルヲ辨別シ得ルノ狀況ナリ

南 埴 玉 郡

本郡七月十六日ノ現況ハ左ノ如シ
一藤波傳左衛門分ハ插秧ノ際旱天ノ爲メ用水欠乏ニ依リ爲メニ平年時期ヨリ十日間ヲ過クルモ插秧ヲ爲スト能ハス空シク苗間ニ存在セシニ依リ稻苗ノ生長過度ナリシヲ以テ移植後生育宜シカラサリシモ漸次降雨ヲ得ルニ依リ充分ニ挽回スルヲ得

得タリ其插秧ハ苗二三本ヲ並列シテ一坪四十株ヲ度トセシニ今ヤ一株ノ莖數多キハ五十本少キモ三十五六本ヲ下ラス一見シテ改良ナルヲ知ルヘシ尤モ施肥ノ方法宜シキヲ失シタル爲メ一時螟蟲ノ點算セシモノアルモ務メテ其葉莖ヲ拔キ去リ驅除ニ怠ラサリシヲ以テ其害ヲ防クヲ得タリ此地タル普通法ニ依レハ一反歩五俵位ノ收穫アルニ止マルヘキモ本年ハ改良法ニヨリ少クモ七俵ヲ得ルヲ難カラサルノ好景氣ナリ

一齋藤德三郎ノ分ハ信州ト小赤トノ兩種ナリシニ信州ハ苗餘リアルヲ以テ一株三四本ノ割ニテ植付ケ小赤ハ之ニ反シテ一本ツ、ヲ以テセリ其生長ニ至テハ小赤ノ方信州種ヨリ一層好良ニシテ今ヤ何レモ一株十四五本ノ多キニ至リ比隣ニ比スヘキモノナシ

一條宮新之助ノ分ハ插秧後生育ハ普通ノ田作ニ比較セハ渾テ一層宜キモ株ノ増加ニ至テハ却テ半額ニ止マルルヲ以テ收穫ノ増減ハ未タ知ル可カラス

北中葛飾郡

本郡ハ種園ヒノ際其結果如何ヲ苦慮セシモ發生後ノ狀況ハ極メテ可ナリ七月廿四日ノ現況ハ即チ左ノ如シ

一石川金平ノ分ハ插秧後稻草ノ生育次第ニ良好ナリ

一内田幸三郎ノ分ハ生育最モ宜シク比隣ノ上ニ出ツルノ景況ナリ
一遠藤鑄吉ノ分ハ生育亦宜シク大字中無比ノ狀況ヲ呈セリ

第六 模造試験田狀況

稻作改良試験田ノ狀況ハ前キニ述フル所ノ如ク尙此他篤志家ニ於テ常時教師ニ親炙
セス直接ニ間接ニ改良ノ方法ヲ知得シ所謂ル模造試験田ヲ設ケタルモノ鮮カラス其
狀況ノ報告ヲ得タルモノハ即チ左ノ如シ亦以テ改良法普及ノ一斑ヲ知ルニ足ラン

北足立新座郡

- 一 試作人ノ員數 北足立郡鴻巣町大字鴻巣福島彌四郎伊藤保ノ二人トス
- 二 試作反別 伊藤保ハ一反二畝廿四歩ニシテ福島彌四郎ハ一反六畝十四歩ナリ
- 三 種圃ノ方法 一月廿六日木造ノ箱ヲ手作リ之ヲ元荒川ニ沈メ以テ種ヲ圃ヘリ
- 四 同石數一反歩ニ付キ四升ノ割合
- 五 狀況 種圃中少シク種子ノ腐敗スルモノアリト雖モ大害ナク苗代田ハ一坪ニ付大豆二合人糞少許ヲ與ヘ巾六尺ニ代ヲ作リタリ其苗發生方ハ普通田ヨリ著シク好良ニシテ其挿秧ハ一坪四十五株ヲ目途トシ一株三本植トシ七月六日一番除草ヲ爲ス此時莖ノ長サ普通田ヨリ二寸長ク形亦大ナリ開花(二百二十日二日前)モ一圃ニ整然トシテ一見異種異耕ノ觀アリ而ルニ九月卅日大風ノ爲メ大凡ソ二割ノ

減石ナレト普通田ニ比スレハ一坪ニ付粃五合強ノ增收見込ナリ

秩父郡

- 一 試作人ノ員數 秩父郡大河原村大字安戸高野喜三、島田貞次郎、鷹野久吉、高野農作、豐田由松ノ五人トス
- 二 試作反別 總計三反歩ナリ
- 三 種圃ノ方法 普通田ノ方法ニ依ル
- 四 同 石數 總計六升
- 五 狀況 苗代ハ八十八夜十日前ニ鋤起シ面積十六坪ニ里芋、大根ノ乾葉各五貫目外ニ人糞一荷ヲ加ヘ施肥シ而シテ八十八夜ニ至リ粃芽ノ一位位生シタルモノ二升ヲ播付ケ之ヲ一反歩ノ苗代トセリ移植田ハ六月中旬深六寸ニ起シ一反歩ニ乾草十束堆肥十駄、人糞七荷、蠶糞三十貫目ヲ施シ同下旬ニ至リ一坪廿五株ノ割合ヲ以テ移植セリ爾來三週間ヲ經テ稻ノ株間ヲミツゴニテ搔キ起シ一番除草ヲ爲シ後一周間ヲ經テ田面ヲ手ニテ均フシ尙一周間ヲ經テミツゴニテ十字形ニ搔起シ又一周間ヲ經テ除草ス此時一株稻廿五本ニ増加シ其丈ク四尺乃至五尺ニ至ル其抽穂ハ長サ八寸乃至一尺ニ及ヒ一穗ノ粒數二百乃至三百ニ至ル即チ一坪ノ收穫二升ヨリ二升五合ノ見込ナリ

兒玉、賀美郡

本郡ハ試験田狀況ノ最モ著キ地ニシテ模造試験田ノ數モ實ニ縣下ノ第一等ヲ占メ其村數九ヶノ多キニ及フ其盛況ハ左ノ如シ

一 試作人ノ員數百二十七人

内

- | | | | |
|----------|-----|----------|-----|
| 一 兒玉郡本庄町 | 三人 | 一同郡藤田村 | 二十人 |
| 一同郡仁手村 | 十九人 | 一同郡東兒玉村 | 七十八 |
| 一同郡共和村 | 八人 | 一同郡上眞下村 | 一人 |
| 一同郡金屋村 | 二人 | 一賀美郡七本木村 | 三人 |
| 一賀美郡丹庄村 | 一人 | | |

二 試作反別十九町七反三畝步

内

- | | |
|-----------|--------------|
| 一本庄町三反步 | 一藤田村六町五反步 |
| 一仁手村一町六反步 | 一東兒玉村七町步 |
| 一共和村一町六反步 | 一上眞下村一町二反二畝步 |
| 一金屋村一反一畝步 | 一七本木村一町三反步 |

一 丹庄村一反步

三 種圃ノ方法

一本庄町ハ寒水圃ニシテ冬至ヨリ流川ニ浸シ月二三回位手入ヲ爲ス
一藤田村モ寒水圃ニシテ流水中長十二間横二間深四尺ノ所ヘ二段ニ棚ヲ設ケ種俵ヲ横ニ据置キ上流ニ塵埃除ヲ設ケ下流ニ閘ヲ裝置シ水量ノ駈引ヲ爲シ寒暖計ヲ水中、土中、空中トニ設置シ常ニ寒暖ノ變動ヲ觀察シ日數八十餘日浸水シ其間六回ノ手入ヲ爲ス

一仁手村モ寒水圃ニシテ一月七日種圃ヲ爲ス東兒玉村モ前ノ如シ

一共和村モ亦然リ

上眞下村モ寒水圃ニシテ種籾ヲ伊丹樽ニ入レ水九分位ヲ容レ薄藪ヲ覆ヒ六日目ニ至リ水ヲ揚ケ藪ニ厚サ四寸位ニ擴ケ置キ籾ヲ折々搔キ回シ籾ノ外部乾キタルヲ度トシ俵ニ入レ之ヲ土藏土間ヨリ一尺離ノ臺ニ載セ三日或ハ五日毎ニ觀察シ溫氣ヲ生セサル様注意シ三月廿日彼岸中ヨリ又伊丹樽ニ入レ三日或ハ五日毎ニ水ヲ換ヘ四月五日水ヲ揚ケ藪ノ上ハ厚三寸位ニ日當リノ好キ所ヘ廣ク厚藪ヲ掛ケ日ニ三回宛搔キ回シ又乾キ過クルキハ微溫湯ヲ吹き取扱フ三晝夜ニシテ發芽ヲ催ス

一金屋村ハ仁手村ニ同シ

七本木村モ同上

一丹莊村ハ群馬縣綠野郡美九里村大字保美ヨリ荒木種ノ雌穗ヨリ撰種セシ粃種ニ升ヲ一月廿五日ヨリ桶浸トシ日々一回ツ、水ヲ換ヘタリ

四 同石數五石五斗九升五合

内

一本庄町ハ一升五合

一仁手村ハ四斗

一藤田村ハ一石二斗

一東兒玉村ハ二石八斗

一共和村ハ七斗

一上眞下村ハ一斗二升

一金屋村ハ四升

一七本木村ハ三斗

一丹庄村ハ二升

五 狀況

一本庄町ハ陸苗代ニ仕立テ植付後一周間乃至十日間位迄ニ蟹爪打ヲ爲シ後八日目位ニ蟹爪直シヲ爲シ後十日目位除草スルコ三四回而シテ出穂ノ頃ニ至リテハ一株三十本乃至四十本ニ至リ其肥料ハ蟹爪打前酒粕醬油粕ニ人糞ヲ混シ廿四五日間經過シタルモノヲ一反歩ニ付廿五荷位ヲ施セリ

一藤田村ハ六月廿日ヨリ馬耕畝鋤ヲ爲シ肥料ハ酒粕、魚腸馬糞、醬油粕、人糞、飴粕等ヲ交混醸造肥トシ粕、大豆等一反歩金高二圓五十錢乃至四圓ヲ施シ水ヲ引入レ置キ六月廿四日ヨリ同三十日迄ニ插秧シ一坪ニ付三十株乃至三十六株トス夫レヨリ十日ヲ經過シ蟹爪打ヲ爲シタリ此頃螟蟲ノ發生シタルニ付一反歩ニ付キ魚油二合位ヲ灌キ驅除法ヲ行フ爾後十二日目位毎ニ除草ス其出穂ハ普通田ニ比スレハ同種類ニシテ五日間モ早ク粒粒緻密ニ結着シ初メ一本乃至二本ヲ一株ニ插秧セシモノ二十四本乃至四五十本ノ多キニ繁茂セリ

一仁手村ハ三月廿五日ヨリ四月二日迄ニ苗代ヘ播種ス其地ハ客年十二月中畝鋤ヲ爲シ馬糞人糞等ヲ施シタリ種粃ハ一坪二合ノ割合ニシテ插秧ハ六月十三日ヨリ同廿六日迄トシ一坪ニ付三十株乃至三十六株トシ後十三日目ニ蟹爪打ヲ兼テ一番除草ヲ爲シ後十日目毎ニ除草スルコ四回此時田面ヲ乾燥セシムル四日其莖葉ハ濃綠色ヲ呈シ恰モ蘆葉ノ如ク繁茂シ一株ノ本數三十五本乃至六七十本ニ繁茂シ八月廿四日頃ヨリ出穂セリ其收穫ハ一反歩ニ付キ殆ト十俵ヲ下ラサルヘキノ見込ナリ故ニ遠近ヨリ傳聞シテ此狀況ヲ來觀スルモノ日々十數名ニ及ヘリト云フ

一東兒玉村ハ大略前述ノ如シ尤モ七月廿日頃塲所ニ依リ螟蟲ノ發生ヲ見レ石油及魚油ヲ以テ驅除シ又ハ莖葉ヲ摘ミ採リ其害ヲ防ギタリ

一 共和村ハ大略前記ニ同シ
一 上真下村ハ播種及插秧其他開死ノ狀況等仁手村ニ髣髴タリ
一金屋村モ仁手村ニ大同小異セリ
一 七本木村モ前記ニ異テラス
一 丹莊村ハ四月廿六日陸苗代ニ仕立テ爾來十日間ハ鳥類ノ驅除ニ盡力シ七月三日ニ至リ水田ニ插秧ス株數一坪ニ付キ三十二株乃至三十八株ノ割合ニシテ其他ノ狀況ハ仁手村ニ伯仲ス

大里外三郡

本郡ハ兒玉外二郡ニ亞キ普及ノ著キヲ見ルモノトス其村數五ケニ及フ其狀況左ノ如シ

一 試作人ノ員數二十八人

内

- 一 男衾郡折原村西ノ入加藤勘一郎外一名
- 一 榛澤郡大寄村矢島小暮隆太郎外二名
- 一 幡羅郡長井村高橋林平外十四名
- 一同 郡明戸村堀米尾拔彌市郎外一名

二 試作反別

内

- 一 折原村一反二畝步 一大寄村凡五反步
- 一 長井村二町步 一明戸村八反五畝步
- 一 太田村五町四反步

三 種園ノ方法

一 折原村ハ種浸ノ日數ハ一月五日ヨリ四月五日迄ニシテ其方法ハ籾種ヲ薦包ニ爲シ藁繩四ヶ所ヲ結ヒ之レヲ山間ヨリ湧出スル澤水ニ浸シ其上ニ砂ヲ掛ク水園ト爲シ三月廿日ニ至リ包ノ儘上下ニ置キ回スコト一回又砂ヲ掛ク置クコト前ノ如クシ四月五日ニ至リ陸揚ク同月十四日迄乾燥シ翌日播種ス
一 大寄村ハ一月十三日桶ニ清水ヲ汲ミ入レ之ニ籾種ヲ浸シ爾來三日間毎ニ水ヲ換ヘ日數凡ソ二十日間ヲ經タルモ陸揚ク乾燥シ又前ノ如ク貯ヘ四月五日播種ス
一 長井村ハ桶浸ニシテ日々水ヲ替ヘ手當ヲ爲ス
一 明戸村尾拔彌市郎ノ分ハ前年十月十八日稻親穗ヲ除キ穗先ヲ取リ之レヲ三時間以內日光ニ晒シ三日間ヲ經テ即チ同月廿一日籾二升ツ、チ一包ニ爲シ居宅北部

二階下ノ空氣流通好キ場所ニ吊シ置クト七十五日間而シテ一月八日包ヲ解キ
二升ツ、一桶ニ容レ寒水ニ浸ス此日數百九日トス
江黒仙太郎ノ分ハ前年十月廿日稻穂ノ半程ヨリ上ヲ選ミ爪ニテ扱キ取リ同廿一
日粃二升ツ、小包ニ爲シ居宅裏ナル空氣流通ノ好キ場所ニ圍フ此日數六十九日
而シテ一月一日包ノ儘利根川ノ流レニ浸ス此日數九十七日トス

四 同石數

内

- 一折原村ハ四升
- 一長井村ハ六斗
- 一太田村ハ一斗八升
- 一大寄村ハ一斗五升
- 一明戸村ハ一斗五升

五 狀況

一折原村ハ一坪四十二株一株ニ付一本乃至三本ノ挿秧ナリシニ追々繁茂シ一株二
十本乃至三十二三本ニ増加シ葉ノ長サ二尺乃至二尺五寸ニ及ヒ普通田ニ比スレ
ハ數等ノ上位ナルコト一目シテ明ラカナリ八月四日ノ現況ニ依レハ開花ハ九月三
日頃ニシテ刈取ハ凡ソ十月廿五六日ノ見込ナリ
一大寄村ハ苗代田凡ソ十三坪ヘ粃種三升ヲ目途ニ播キ付テ熊手ヲ以テ縱横ニ播キ

又鐵ヲ以テ之ヲ打チ均ラシ其上ニ青草若クハ藁ヲ覆ヒ而シテ四月下旬ニ至リ發
生セリ其成育二三寸ノモリ覆ヲ取除キタリ此頃少シク螟蟲ノ發生セシヲ以テ六月
廿五六日頃魚油三合ヲ散布シ二回程驅除シタリシニ同月二十八日頃ニ至リテハ
粃一粒ノ苗繁茂スルコト六本乃至七八本ニ及ヘリ依テ冷水ヲ灌キ之ヲ拔キ取ルニ
普通苗ニ比スレハ甚タ拔キ易カリシ之ヲ一本ツ、挿秧セシニ其成暢優且速ニシ
テ八月十四日頃ハ葉莖青黑色ヲ帶ヒ一株ノ本數二十五六本乃至三十本ニ繁茂セ
リ

一長井村ハ四月廿二日兼テ水園ニモシ種粃ヲ陸揚シ翌二十三日播種セシニ五月十
三日頃苗丈々五六分ニ伸長セシニ依リ播種ノ際施シタル藁覆ヲ去リ追々發育シ
一粒ノ苗七八本乃至十五六本ニ繁茂ス之ヲ六月廿七日挿秧シ翌月八日蟹爪打ヲ
爲シタルニ少シク螟蟲ノ兆アルヲ以テ其葉莖ハ殘ラス之ヲ摘取リ同月廿一日二
番除草ヲ爲シ田面ヲ乾スト三日間後八月四日三番除草ヲ爲シ再ヒ乾スト四日間
此時稻草ノ繁茂スルコト著シク一株ノ莖數三四十本乃至五六十本ノ多キニ至リ八
月十四日四番除草ヲ爲シ又乾スト五日間ナリ後同月廿八日ノ現況ニ依レハ出穂
ノ長サ九寸乃至一尺二三寸ニ及ヘリ

一明戸村尾拔彌市郎ノ分ハ四月廿六日浸種ヲ陸揚クシ一坪ニ粃種一升ノ割ヲ以テ

播付ク爾後培養スルヲ六十九日間七月三日ニ至リ一坪三十五株一株ニ一本乃至二本ヲ見込ミ挿秧シ順次ニ施肥除草等ヲ了セシニ八月廿七日ノ頃ハ一株ノ繁殖二十本乃至四十五本餘ニ至レリ

江黒仙太郎ノ分ハ大同小異ニシテ四月八日浸籾ヲ陸揚シ翌日十坪ノ苗代田ヘ一升ヲ播種シ七月一日一坪三十株一株一二本ヲ見込ミ挿秧セシニ爾後繁茂シ八月廿二日ノ頃ハ一株ノ莖數三十本乃至四五十本ニ増殖セリ

一太田村ハ一株一二本ヲ見込ミ挿秧シ株毎行ノ距離近キハ一尺遠キハ一尺四五寸播幅ハ之ニ副ヘリ故ニ井然トシテ空氣流通良好ニシテ光線ノ透徹モ亦宜キヲ得タリ挿秧ノ當時ハ一見寂寥ヲ感セシモ二番除草ヨリ三番除草ノ頃ニ至リ株勢大ニ繁盛シ八月十五日ノ頃ハ一株數多キハ七八十本少キモ亦二三十本ニ下ラス普通田ト大差アルニ至レリ

東京京橋區西紺屋町廿六七番地秀英會印刷